

## 第4期 中野区障害者自立支援協議会議事要録

部会名	自立支援協議会(全体会)	回	第6回
日時	2015年 3月11日(水)	13時30分 ~	15時30分
会場	中野区役所7階 第10会議室		
検討内容			
<p>1 会長あいさつ</p> <p>国連障害者権利条約を批准して1年が経った。2年以内に政府レポートを提出する必要がある。外務省のホームページには障害者権利条約のパンフレットが掲載されており、日本の取組が載っている。政府レポートの基軸になると思われるが、これに併せて、市民団体、障害者団体からパラレルレポートを提出できる。関連団体では国内法や施策等が障害者の生活向上につながっていくか検証に動き始めている。当協議会も地域行政と関係者・当事者とより一層連携を深め、取組を進めていきたい。</p> <p>2 相談支援機関会議報告 (事務局)</p> <p>第10回(1月28日開催)</p> <p>ケース事例は20件。</p> <p>グループホームの数と質について、グループホームは増えつつあるが、地域移行のためにはまだまだ少ない。また、世話人すべてが資格や経験、障害に関する知識があるわけではない。今後、グループホーム数の増加とともに、世話人への情報提供や懇談会を設け、質の向上を図る必要があるのではないか。</p> <p>3 各部会報告</p> <p>(1) 相談支援部会</p> <p>◆第7回(1月21日開催)</p> <p>3部会合同セミナーの感想、次回への課題、要望について話し合った。講義やグループワークの内容についての意見の他、グループワークの時間の不足についての意見が多かった。</p> <p>また、事務局からB型サービス利用時のアセスメントについての説明があり、障害者福祉会館から機能回復訓練利用時の確認事項について説明が行われた。</p> <p>◆第8回(2月18日開催)</p> <p>3部会合同セミナーのアンケート結果をもとに、感想・意見を発表した。続いて、サービス移行について現状で困っていること等を話し合った。介護保険移行後のB型利用やサービス利用や計画作成後のモニタリング、B型利用の際のアセスメント、計画相談等について意見が出された。また、区の担当より「障害者福祉のしおり」の改定に向け、説明と意見の募集があった。</p> <p>&lt;意見交換概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険と障害福祉サービスの65歳問題は、当事者団体で問題になっている。厚生労働省の全国調査では地域格差が大きいことがわかっている。</li> <li>・障害者の生活や実態、個性がよく知られていない。その無理解が結果として、差別や偏見につながっていく。権利条約について国民に周知していくことが必要である。中野区では啓発活動を積極的に行っていきたい。</li> </ul> <p>(2) 地域生活支援部会</p> <p>◆第7回(1月13日開催)</p>			

(様式1)

区内グループホーム調査票を一般に公開することを想定し、書き方を見直した。また、介護保険と障害福祉サービスの併用、切り替え事例についての情報交換を行った。中野区では併用、切り替え共に比較的、問題なく行われている。

事例検討会は、グループホームに入居中の重度糖尿病患者に対して、どのように支援すべきかを話し合った。

◆第8回（3月10日開催）

3部会合同セミナーの感想、意見を話し合った。部会員全員から来年度以降も継続してセミナーを開催したいとの意見が出た。

グループホーム調査票のまとめを行い、調査票は部会資料とし、外部への公表は行わないことを決定した。

平成26年度の部会活動報告書について事務局案をもとに意見交換を行った。

防災に関する内容はどの部会が担当するのかを確認したいという意見が出た。

また、車いすを利用している部会員から、公共交通機関の利用にあたり時間がかかることから、部会に遅れることがあると発言があった。

<意見交換概要>

- ・防災対応について、各部会で具体的な議案として検討していないが、今後どうしていくべきか？  
→議論をするためには、中野区地域防災計画について知っておく必要がある。障害者に関する部分について、防災計画の担当者に説明してほしい。
- （事務局）東日本大震災を受けて東京都の被害想定が変わり、防災計画も改正された。概要の作成を含め防災担当と調整して、来年度に説明を行いたい。
- ・障害者が部会に参加するにあたり、現状は本人の負担の上での参加となっている。合理的配慮をふまえ、リフトタクシーの利用など、自立支援協議会として何らかの配慮が出来ないものか？  
→（事務局）リフトタクシーの利用については、金銭が関係するので今すぐに回答はできない。何らかの方法があるか検討していきたい。

(3) 就労支援部会

◆第8回（2月17日開催）

3部会合同セミナーの意見交換を行った。参加者からの評価は高いものの、一方でグループワークの時間不足を指摘する声が多く、次年度以降の課題となった。また、12月1日から5日に行われた、区役所1階における自主生産品等の物品販売会について、事務局より報告がされた。

一般就労に向けて実施している支援について、都立練馬特別支援学校・都立中野特別支援学校・中野区障害者福祉事業団から説明がされた。定着支援対象者の増加によりマンパワー不足や、就労初年度に離職するケースが多い等の課題があげられた。

<意見交換概要>

- ・自主生産品の販売会について。購入者数と売り上げは、目標を達成したのか？  
→（事務局）お祭り等の販売の場が少なくなっている現状から、区役所で販売会を行いたいという意見を受けて開催した。売り上げ目標は立てていなかったが、参加した事業所からは、予想より売り上げが良かったという声がある。今後、回を重ねる中で売り上げも伸ばしていきたい。
- ・福祉売店や福祉コーナーで販売することは、販売方法として適切なのか。通常の売店で他の商品と、品質で勝負しながら販売していくことはできないか。

(様式1)

→福祉売店の売上げが落ちてきている。今後どうやって売上げを上げていくか、考えなくてはならない。

→障害者が作ったものとして、福祉的に販売する方法には限界がある。商店街等で市民の生活の中で販売する必要があるし、そういう場を作っていきたい。

#### 4 事業者連絡会報告

##### (1) 居宅系事業者連絡会

1月9日に研修会を開催、25名申込み中10名が参加。

研修会のテーマは「重度障害者の介護にあたってのコミュニケーションの取り方を考える」。

コミュニケーションの重要性を中心とした講義と、意識は正常なのに話せないことを体験するため、ALS患者と支援者のロールプレイを行い、コミュニケーションの取り方を学んだ。ロールプレイ後は患者・支援者双方の立場になって感じたことの振り返りを行った。

参加者からは、お互いにコミュニケーションを取ろうとする気持ちが大事、重度障害者への接し方の見直しが出来た、等の感想があった。

##### (2) 施設系事業者連絡会

1月15日開催、15事業所が参加。

各事業所の近況報告から、学校・役所から事業所に十分な情報提供が行われていない、以前に起きたトラブルの情報共有の必要性、人材が集まりにくい、等の意見が出た。

続いて、障害種別による地域移行の状況について情報交換を行った。

##### <意見交換概要>

- ・なぜ人材が集まりにくいのか？また、どんな対応を行っているのか？

→景気の上向きが最大の理由と見ている。例年に比べ、介護職が集まりにくいという実感がある。単独の事業所では今後も厳しい状況が続くのではないかと。現状では、具体的な対応策をとることは難しい。まず状況の意見交換からはじめて、取るべき手段を考えていきたい。

#### 5 報告事項 (事務局より報告)

##### (1) (仮称) 中野5丁目障害者多機能型通所施設整備事業施設整備・運営法人の選定結果について

中野5丁目の区有地貸付による施設整備・運営を行う事業者を、企画提案公募型事業者選定方式により選定した。応募状況は7法人、うち1法人は途中辞退している。書類選考とヒアリングによる選考の結果、交渉第1順位を社会福祉法人東京コロニーに決定した。

今後、平成28・29年に整備工事を行い、平成30年4月の開設を予定している。

##### (2) 第4期中野区障害福祉計画について

第4期中野区障害福祉計画のパブリック・コメントの手続きが終了、計画が決定した。

##### (3) 平成27年度 第4期中野区障害者自立支援協議会(全体会)の日程について

資料をもとに、平成27年度協議会日程の説明があった。

(様式1)

## 6 その他

### (1) 委員の辞職について

武市委員（社会福祉法人愛成会）、田窪委員（中野区障害者福祉会館）が、今年度末で委員を辞職する。後任については、中野区から各所属法人に推薦を求める。

### (2) その他

#### <意見交換概要>

○平成 27 年 10 月に障害者虐待防止法の見直しが予定されている。より良い内容にするために、皆で訴えていきたい。

→施行後、虐待は増加傾向にある。虐待防止法が出来たことにより、潜在的なものが表に出てきたという見方もできるのではないか。今後どうしていくか、重要な課題である。

○全国の自治体で障害者差別禁止条例を制定する動きがあるが、中野区は予定しているのか？

→（事務局）障害者差別解消法が平成 28 年 4 月に施行されるにあたり、国が基本方針を示したところである。自治体でも平成 27 年度中に、一定の方針を決めなくてはならない。条例化や、区としてどんな取組を行っていくかについて、4 月以降方針を固めていく。現時点では、具体的な話はない。

○中野特別支援学校からのお知らせ

- ・「交流だより」第 1 号～第 3 号、平成 26 年度交流教育リーフレット「ふれあい」を配付。

○事務局からのお知らせ

- ・セミナー「障害者虐待をどう考えるか」

3月16日（月）17時～19時、中野区役所 7 階第 10 会議室で開催。

備考

次回日程 5月21日（水）13：30～15：30

中野区役所 7 階第 10 会議室